

出雲市の有害鳥獣捕獲状況等について

《鳥獣別捕獲状況の推移》（出雲市有害鳥獣捕獲班による捕獲）（単位：頭、羽）

種別	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
シカ(出雲北山山地)	(注)579	547 (注)590	568 (注)607	471 (注)448	675 (注)658
シカ(湖北山地)	183	228	701	1,294	1,478
イノシシ	1,016	1,201	1,521	1,466	1,596
ヌートリア	512	514	496	625	533
タヌキ	499	638	448	785	500
その他獣類	28	67	78	103	176
カラス	148	148	562	512	1,382
スズメ	71	102	76	180	161
その他鳥類	59	46	56	115	99

(注)は暦年頭数

《シカの推定生息頭数の推移》（単位：頭）

区域	H21 年末	H22 年末	H23 年末	H24 年末	H25 年末
出雲北山 山地	434(±118) ⇒区画法	371(±101) ⇒区画法 1,378(792~2,668) ⇒H22 ベイズ法(初回)	405(±107) ⇒区画法	475(±165) ⇒区画法	304(±65) ⇒区画法
		1,363(1,044~2,133) ⇒H25 ベイズ法に基づ く推定頭数	1,072(809~1,762) ⇒H25 ベイズ法に基 づく推定頭数	863(637~1,440) ⇒H25 ベイズ法に基 づく推定頭数	496(297~976) ⇒H25 ベイズ法(2 回目)
湖北山地	269(±109) ⇒区画法	341(±164) ⇒区画法	564(±283) ⇒区画法	306(±178) ⇒区画法	179(±71) ⇒区画法 1,315 (893~1,977) ⇒H25 ベイズ法(初回)

* 「区画法」：調査区域を 5ha 程度の区画に分け、調査員が尾根から一斉に歩いてシカ発見数を計測。調査区域内の生息密度を算出し、区域の生息頭数を推定。

* 「ベイズ法」：区画法によるシカ発見数に、シカの糞の数、夜間のシカ目撃数など複数の密度指標を加え、捕獲後の増減状況なども考慮し生息頭数を推定。

≪平成26年度の重点対策≫

●北山山系のシカ対策

◇捕獲の強化 …【シカ適正管理対策委託事業、出雲市有害鳥獣捕獲事業など】

*生息頭数はベイズ推計等から減少傾向にあるが、被害の軽減と適正な生息頭数に向け、県と連携し捕獲を推進する。(継続)

*捕獲の担い手確保、捕獲体制の強化を図るため、狩猟免許新規取得者に対する免許取得にかかる費用の助成を行う。(継続)

◇施設による被害防止対策の強化…【シカ適正管理対策委託事業、被害防止施設整備事業補助など】

*県と連携し、農地への防護ネット、電気牧柵の設置など、シカ侵入防止対策を実施する者へ支援を行う。(継続)

参 考

≪鳥獣被害状況≫

【鳥獣別】

(単位：千円)

種別	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度 (4~12月)
シカ	5,658	10,531	3,695	2,483	1,173
イノシシ	661	2,911	766	3,690	4,195
ヌートリア	0	1,006	146	6	14
タヌキ	0	62	0	0	3
カラス	0	10,618	26	1,943	185
その他	1,035	963	2,165	761	205
合計	7,354	26,091	6,798	8,883	5,775